

事業コード	H23-建-継-5		区 分	国庫補助 県単独
事業名	広域河川改修事業		部局課室名	建設交通部 河川砂防課
事業種別	河川改修(鉄道橋・道路橋緊急対策事業)		班 名	河川・ダム・海岸班 (tel) 018-860-2514
路線名等	新城川		担当課長名	石黒 互
箇所名	秋田市飯島		担当者名	主幹(兼)班長 市川 利和
総合計画との関連	政策コード	11	政策名	生活基盤の整備
	施策コード	02	施策名	災害に強い県土づくりと社会資本の長寿命化
	指標コード	01	施策目標(指標)名	土砂災害防止施設、河川、海岸の整備

## 1. 事業の概要

事業期間	H19 ~ H24 (6年)		総事業費	27.0億円	国庫補助率	1/2
事業規模	鉄道橋架替(L=56.4m,W=9.53m)、道路橋架替(L=57.4m,W=20.3m)、河道掘削(L=550m,V=21,000m <sup>3</sup> )					
事業の立案に至る背景	新城川は蛇行が著しく、その上現況流下能力が広域河川計画の2割程度と低いため、以前から氾濫頻度が非常に高い河川であった。そのため、平成3年度より広域河川改修事業に着手し、最下流にある国道7号橋梁及び鉄道橋梁の架替を先行するために、用地取得と事業調整(他機関等)に長期間を要していたが、平成18年7月の豪雨により新城川上流部において、当該区間が原因となった甚大な被害が発生したため、鉄道橋・道路橋緊急対策事業を導入し、ネックとなっている一連区間を早期に改修し、上流域の治水安全度の向上を図るものである。					
事業目的	新城川において、特に治水上ネックとなっている支川島合川合流点上流の国道7号橋梁、鉄道橋梁を含めた一連区間について、河川の洪水疎通能力が著しく不足していることから、緊急的に改修し、上流域の治水安全度の向上を図ることを目的とする。					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等
	事業費		1,800,000	2,700,000	900,000	
	経費 内訳	工事費	1,560,000	2,115,000	555,000	
		用補費	100,000	364,000	264,000	
		その他	140,000	221,000	81,000	
	財源 内訳	国庫補助	900,000	1,350,000	450,000	
		県 債	810,000	1,215,000	405,000	
その他		0	0	0		
一般財源		90,000	135,000	45,000		
事業内容		J R 橋、国道橋、掘削、築堤、護岸工等	J R 橋、国道橋、掘削、築堤、護岸工等		関係機関であるJR東日本と工事協議をした結果、橋梁の架替工法を活線方式から仮線方式に変更となり、増額となったため。	
事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体事業費 27.0億円</li> <li>H23年度末投資額 19.9億円</li> <li>進捗率 73.7%</li> </ul>					
事業推進上の課題	早期治水効果の発現とコスト縮減の検討					
関連する計画等	「ふるさと秋田元気創造プラン」で5つの戦略を支える横断的な取組の(4)社会資本整備の推進の中で水害・土砂災害への対応力強化が位置付けられている。					
情勢の変化及び長期継続の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿川の住宅化が緩やかに進行しているものの大きな変化はない。</li> <li>国道7号橋梁、鉄道橋梁の架替工事に伴う関係期間との調整、および用地交渉に長期間要してきたが、本事業の投入(鉄道橋・道路橋緊急対策事業)により、広域事業(上流区間)との同時進行が可能となり、今後、河川改修の進捗スピードを早めることのできる状況にある。</li> </ul>					
事業効率把握の手法及び効果	指標名	河川整備率				
	指標式	河川整備率 = 河川改修 / 要改修延長				
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無	
	目標値 a	45 %		データ等の出典	県河川砂防課	
	実績値 b	45.2 %				
達成率 b / a	100.4 %		把握の時期	平成23年3月		

前回評価結果等	選定または継続 改善 見直し 保留または中止
	指摘事項
	特になし
	指摘事項への対応
	特になし

## 2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	蛇行が著しく狭小な河川であるため、近年の集中豪雨により毎年のように洪水被害が発生し、人家や耕地等に甚大な被害を与えている。そのため、地域住民は河川改修による治水対策を強く望んでいる。	30点
緊 急 性	秋田市の一部住宅を流れる河川で、度々甚大な被害を記録している。昭和62年8月の洪水では400戸を超える家屋浸水が発生している。近年では、平成18年の洪水により公共及び一般資産被害が発生するなど、毎年のように浸水被害が発生しているため、早急な対策が必要である。	13点
有 効 性	新城川の島合川下流部2.8km(旧雄物川合流点～島合川)区間は、過去に確率規模1/15で暫定改修済みであり、本事業で実施する区間はその直上流の橋梁2橋の架替えと河道ショートカットを実施することにより、上流部の被害軽減を図ることが可能である。また、手段の妥当性として、河道ショートカットは現河道改修に比べ、治水効果の発現が明確であり、改修進度も早いことから当手法は有効である。	15点
効 率 性	(費用対効果) 費用便益比は1.0以上であり事業の効率性は高い。 (コスト縮減の取組状況) 残土運搬距離の縮小、暫定断面による改修等によりコスト縮減をはかり、事業の促進を図っている。	8点
熟 度	・平成3年度より広域河川改修事業を実施しているが、その間も度々洪水被害が発生していることから、地元では期成同盟会を組織し、早期の事業促進を求めている。 ・国道橋梁及び鉄道橋梁については、それぞれの迂回路、仮線路への切り回しが終了しており、今後本格的に橋梁工事に着手することとなっている。	20点
判 定	ランク ( ) 地元からの要望が高く、「必要性」「有効性」「効率性」等から、事業の重要性は高く評価できるため、継続して事業を実施し、早期完成が望まれる。	86点
総 合 評 価	継続 改善して継続 見直し 中止 事業継続は妥当である。	

## 3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト縮減に努めながら、事業を継続する。
--------------------------

## 4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 河川改修事業

事業コード (H23-建-継-5 )  
箇所名 (秋田市飯島 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	想定氾濫区域内の状況					
	浸水戸数	50戸以上 49~10戸 10戸未満	10 7 3	10		
	浸水面積	60ha以上 59~10ha 10ha未満	10 7 3	10		
	重要な公共施設	3施設以上 2~1施設 無し	5 3 0	5		
	整備計画の策定					
	関係者、関係機関との調整	整備計画策定済み 協議中であるが特段問題ない 策定に着手していないが予定がある 予定無し	5 3 1 0	5		
	計			30	30	
	緊急性	災害発生危険度				
		改修目標流量に対する現況流下能力	40%未満 40~59% 60%以上	10 7 5	10	
		秋田県水防計画				
重要水防地域		評定基準区分A 評定基準区分B	5 3	3		
計			15	13		
有効性	河川整備の有効性					
	安全度	災害防止等効果が発現する 災害防止効果は現状と変わらない	7 0	7		
	親水性	安全に川と親しむ場として利用が見込まれる 親水性は現状と変わらない	5 0	5		
	地域開発の状況	都市計画区域の存する地域 地域開発の計画がある 予定無し	3 1 0	3		
	計		15	15		
効率性	事業の投資効果					
	費用便益比 (B/C)	1.0以上 1.0未満	5 0	5		
	事業実施コストの縮減					
	該当項目数	3項目以上 2項目 1項目 無し	5 3 1 0	3		
	当初計画との比較					
	当初計画事業費からの縮減	減少または10%未満の増加 10%以上30%未満の増加 30%以上の増加	5 3 0	0		
計		15	8			
熟度	地元との合意形成の状況					
	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている 意向が強く要件の同意を概ね得ている 意向が一部で強いがまだ要件の同意は得ていない	5 3 1	5		
	市町村の参画	積極的に参画し要望書等の提出がある 参画している 参画していない	5 3 0	5		
	事業の進捗状況					
	進捗率	計画より進捗している 概ね進捗 (90~100%未満) 計画より遅れている (90%未満)	10 5 3	5		
	環境との調和への配慮状況					
	環境保全への配慮	システムでの環境配慮事項が3事項以上 システムでの環境配慮事項が1~2事項 システムでの環境配慮事項がない	5 3 0	5	システム = 秋田県公共事業環境配慮システム	
計		25	20			
合計			100	86		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		